

無電柱化シンポジウム

災害から見た無電柱化の必要性

令和元年9月の台風第15号や10月の台風第19号での記録的な暴風・大雨による倒木や電柱倒壊で、伊豆諸島始め都内や千葉県で大規模停電が発生しました。

これを機に、都民の皆さまに無電柱化事業について防災の観点から改めて考えていただくために、「無電柱化シンポジウム」を緊急開催いたしました。



無電柱化シンポジウム

- ❖日 時：11月8日（金） 19時～19時45分
- ❖場 所：都議会議事堂1階 都民ホール
- ❖プログラム：パネルディスカッション「災害から見た無電柱化の必要性」

出演 小池 百合子（東京都知事）

松原 隆一郎（放送大学教授）：コーディネーター

宮内 秀樹（衆議院議員 ITS推進・道路調査会無電柱化小委員会 事務局長）

中村 敦（東京電力パワーグリッド(株) 配電部長）

田辺 博（東日本電信電話(株) 常務取締役ネットワーク事業推進本部長）



パネルディスカッションでは、電線管理者からは今回の台風による被害状況について、小池知事からは知事自身の経験や都の施策について触れた上で、出席者それぞれの立場から、①なぜ無電柱化が進まないのか、②最新の無電柱化の取組、③無電柱化を加速させる取組の三点について、議論していただきました。

最後に、小池知事から、『これだけの災害を経た後、セーフシティは多くの方の最も関心の高いところにあるのではないかと感じています。「やっぱり無電柱化がいいよね」と感じていただき、それがムーブメントになっていく。（中略）（無電柱化は）「こういう街にするんだ」という決意なくして進まない。東京都は覚悟して進めていきたいと思っております。是非みんなが無電柱化を加速させてまいりましょう』とのコメントがありました。